

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう



# ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2014年度 Vol.3



## 環境学習講座のご案内

1月～3月の  
大人&子ども向け  
講座予定



### お茶のおいしい入れ方を学びましょう

お茶メーカーの環境に配慮した取組み（茶殻リサイクルシステム、アルミレス紙容器）について紹介します。

お茶のおいしい入れ方を  
実演し、参加者にも実際  
に行っていただきます。

（対象：一般）

- 開催日/2月21日（土）
- 募集/1月21日から
- 講師/千田康之氏

（株式会社伊藤園 品川支店長）



やっぱり  
日本茶!



### LEDを使って小さな行灯を作ろう

LED照明とはどのようなものか？基本や使用場所、用途別の選び方について学び、自在に持ち運びできるコンパクトな行灯を制作します。

（対象：一般）

- 開催日/2月22日（日）
- 募集/1月21日から
- 講師/立川敦子氏（照明コンサルタント）



### 海博士になろう!

#### (1) 砂浜の探検

海と陸が出会う場所には不思議がいっぱい。砂浜をじっくり観察するとなにが見えるかな？砂の標本を作りましょう。

#### (2) りんごと海

りんごを地球儀に見立てて切っていくと見えてくるものは？大切な資源に注目しながらミニ地球儀を作ります。

#### (3) 海流

海の波や流れはどうやって起こるのか実験で見てみよう！「秘密の道具」を使っておうちでも実験しましょう。

（対象：小学生）

- 開催日/3月15日(日)、21日(祝)、22日(日)
- 募集/2月11日から（1人1講座）
- 講師/佐藤宏氏ほか  
（㈱日本環境教育フォーラム）



### 風力発電機をつくろう!

電気の作られ方やその動き、風力発電について学んだあと、ペットボトル、牛乳パックを使って風力発電機を作ります。（対象：小学生）



電気の工作に  
チャレンジ!!



- 開催日/3月1日（日）
- 募集/2月1日から
- 講師/安永隆志氏

（蔵前理科教室ふしぎ不思議副代表）

\* 講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページにて募集開始日から掲載します。ご応募お待ちしております。

# お天気教室

NPO法人エコタウンしながわ 平成26年開催講座

★「おてんきとくもとあめのおはなし」(二葉保育園)  
昨日きれいに見えた富士山が、今日は雲に隠れて見えません。飛行機に乗って雲の上から富士山を見ました。きれいな青空で、白い雲が下に見えました。



講師：「雲に乗れるかな？」  
園児のみなさん：「乗れない！」

★「天気の不しぎと気象実験」  
(浜川小学校／浜川科学教室)  
(山中小学校／山中おやこエコクラブ)  
(会場：旗の台文化センター  
／地域のお母さんと幼稚園児)



天気にかかわる楽しい問題に取り組み、気圧変化で起こる様々な現象、簡単に雲が作れる実験、更に防災の話などに、皆さん真剣に耳を傾け、実験に取り組んでいました。



★お話(天気の不思議と異常気象)とコンサート  
(会場：荏原第五中学校アリーナ／荏原地区の方々)

NPO法人エコタウンしながわ では、出前講座「お天気教室」のご希望をお受けしています。

対象：品川区内幼稚園・保育園、小学校、中学校、各地域グループ・町会  
時期：平成27年4月～3月(確定順に4講座)  
講師：気象予報士 費用：無料  
ご連絡先：環境情報活動センター内  
NPO法人エコタウンしながわ  
TEL・FAX: 03(5742)6533  
E-mail: center@shinagawa-eco.jp

## 松 - 格調の高い植物

門松を飾って、お正月を迎える習わしは、現代でも続いています。長寿や繁栄の象徴として、尊ばれるためでしょう。

江戸時代、街道筋には松並木が続いていました。四方を海に囲まれた日本では、海岸線が続く風景に松は欠かせません。



品川宿の松 と しながわ区民公園の松

マツには、防風林・防砂林・防潮林という役目がありました。東海道の品川宿にも配置されています。これらはクロマツです。

日本にはアカマツ・クロマツ・リュウキュウマツ・ゴヨウマツ・ハイマツ・チョウセンゴヨウ・ヤクタネゴヨウ(屋久島・種子島の意)の7種類のマツが自生します。

松葉を交差させて引っ張り合う「松葉すもう」という遊びがありますが、葉が5本のマツもあります。二本の葉はアカマツ・クロマツ・リュウキュウマツで、ほかの4種は5葉です。

名前通りのクロマツの幹は黒く、雄々しい感じがします。アカマツは幹が赤く、葉も細くきゃしゃです。この2種には雄松、雌松と対比させた呼び名もあります。幹の色による呼び名では黒、赤のほか白もあります。しかしシロマツ(ハクシヨウ)は日本のもので



上からクロマツ、アカマツ、ゴヨウマツの葉

はなく、中国原産です。上部の葉や枝ぶりは確かにマツですが、幹はただら模様剥げ落ち、まったく別の木のように見えます。



シロマツ  
(小石川植物園)→

左の写真は4月末のクロマツです。棒状の新芽のてっぺんには雌花があり、これがマツカサになります。下部には昨年の球果(マツカサ)があり、このあたりに雄花が出ます。

(今年の雄花は落ちてしまい、写っていません)花粉は風で運ばれるので、雄花と雌花の付く位置は離れています。

マツカサは実るまで、2年かかります。マツカサには一片毎に2個の種子があり、種子には薄い羽根がついています。空気が乾燥しているときにマツカサは開き、風を利用して種子をあちこちに飛ばします。雨の日には羽根が濡れてしまうので、マツカサは開きません。



11月末  
来年伸びる新芽

冬にはマツの幹に「菰(こも・稲わらで作る)」が巻かれていることがあります。これは寒さ除けではなく、昔は、越冬する虫を引き寄せ、薬剤を使わないで行う害虫駆除でした。しかし益虫をも駆除してしまうという調査結果が出ました。近年はどんな虫が越冬したか、調べる観察会が開かれています。身の周りに虫を見かけなくなった昨今では、見逃せない催しです。(環境カウンセラー 倉田智子氏)

# 環境記者活躍中

## 常緑キリンソウによる屋上緑化



6年前、品川区の助成を受けて屋上緑化を実現しました。6年前に植えた常緑キリンソウの株の根元から、今年もたくさん新芽を出しました。



刈り取る前

刈り取った常緑キリンソウは、熟成土壌と一緒に、「株の座布団」に入れますので、ゴミは全く出ません。完全な自己完結型再生のサイクルを実現しています。葉が大気中から水分を吸収し、6年前から水撒きは一度もしていません。真冬でも、今年の酷暑の中も、緑の葉をつけて、株は枯れません。6年間、自然に降る雨だけで育っているのです。驚くやら、勇気づけられるやら……

刈り取った常緑キリンソウは、熟成土壌と一緒に、「株の座布団」に入れますので、ゴミは全く出ません。完全な自己完結型再生のサイクルを実現しています。葉が大気中から水分を吸収し、6

緑化効果は、室温を約2℃低下させます。真夏でも葉の裏側の影は冷たく感じ、よく猫が葉の裏側で休んでいました。今は屋上出入口に戸を付けていますので、猫は侵入しませんが。

今年の暮れから春にかけて、再び一面が緑の絨毯となります。これまでに鳥取県知事はじめ、大勢の方々が見学を訪れています。



作業中



熟成土壌投入作業後

(環境記者 志賀 勝氏)

## 区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、現在「区民環境記者」を募集しています。

花の開花情報、地域の環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を、区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。

区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで



E-mail : [center@shinagawa-eco.jp](mailto:center@shinagawa-eco.jp)

TEL : 03-5742-6533

## 「もったいない……」の気持ちを大切に

お買い得品や掘り出し物をいろいろと揃えています

「リボン」では、みなさまのご来店をお待ちしています。詳細はそれぞれのお店にお問い合わせください。



旗の台店 03-5498-7803

「ものを大切に使おう」をテーマに

洋服、バッグ、雑貨や家具など、ご家庭にある品物の買い取りや委託販売をしています。

「捨てるのはもったいない」、「ご縁があれば他の方に使っていただきたい」、そんな品物がありましたら「リボン」をご利用ください。



リサイクルショップ「リボン」をご存知ですか？

「リボン」はNPO法人エコタウンしながわが品川区の協力を得て運営しているリサイクルショップで、旗の台店と大井町店があります。



大井町店 03-5742-6933

区役所第三庁舎の外壁工事などのため、お客様にはご不便をおかけしています。通常通り営業を行っていますので、ご来店をお待ちしています。

## こんな講座を開催しました (平成26年9~11月)

### ●さき布から「ぞうり」を作ろう

(一般/9月21、23日)

受講者にお持ちいただいた古布を使ってぞうりを作りました。講師オリジナルの作業台を使った2日にわたっての講座でした。



【受講者の声】下準備が大変ですが、完成した時の喜びは大きい。世界に一つだけの草履に大満足です。2足目はもっと上手に作りたい。皆さまとの楽しい講座でした。先生ありがとうございました。

### ●住まいのLED照明活用方法と光の色変化を体験しましょう (一般/9月28日)

LEDの基本と各家庭での器具ランプの選び方について学びました。赤青緑の3色のLEDを用いて光の色が変化する原理を学び、全員が「白いLEDの光」を作りました。工作では童心に帰って楽しんでいただけたようでした。



【受講者の声】分かりやすく良かった。工作が大変良かった。

### ●風力で電気を起こそう!

(小学生/10月5日)

環境にやさしい風力発電のしくみ、風と発電機について学べる教材を2種類組み立てるといった盛りだくさんの内容でした。科学者やエンジニアへの第一歩になったかな?



【受講者の声】キットを買ってもなかなか親子で作れないので、今日は一緒に作れて良かったです。お話だけでなく、実験キットを使って勉強することができたので楽しく理解することができました。

### ●都会の身近な鳥たちの暮らし～増える鳥・減る鳥 (一般/10月26日)

カラス、スズメは増えてる? 減ってる? 都市に生息する野鳥の生態とその最新事情についてお話いただきました。



【受講者の声】身近な鳥にどんどん変化が起きている事、人が影響している事など、面白かったです。私ももっとよく観察してみたいと思いました。

### ●再生可能エネルギーの現状と今後の見通し

(一般/10月31日)

今世界で起きている地球温暖化現象などが紹介され、食料や健康へのリスクについてお話いただきました。さらに温室効果ガス削減のために再生可能エネルギーの果たす役割と導入促進に向けて、日本の現状を中心に各国の取組みについてお話いただきました。



【受講者の声】再生可能エネルギーの積極的な導入と技術開発が日本の国としてできていないことがわかった。

### ●空箱でつくるジオラマカレンダー

(小学生/11月2日)

捨てられてしまいそうだった物を「素材」として使い、立体的なジオラマを作ってみるというユニークなアート講座でした。要らなくなった小さなおもちゃ、端切れ、リボン、クッション材など、箱の中に自分の世界を自由に表現して、それを壁掛けカレンダーに仕上げるというのがテーマでした。



【受講者の声】いろいろな物などで、こんなに上手な作品が作れるとは思いませんでした。

### ●頭のいい江戸のエコ生活

(一般/11月9日)

江戸の一日は「明け六つの鐘」で始まります。魚介類、野菜は毎日、行商人から必要な分だけ買うことができるため、食材の余りはないのです。かまどの灰も、行商人が肥料用に回収にきます。徹底したエコ生活です。



【受講者の声】とても楽しく江戸時代の事を学べた。田舎から出てきたがこれを学んだことで東京人になって来たかな? と思った。

### ●天体写真と星空のお話

(一般/11月16日)

「はやぶさ」が帰還したときの撮影や天の川、天文台、望遠鏡、月、星空、彗星、流星群、光害(ヒカリガ1)などについて豊富な写真とお話を伺いました。また光害については不要な光をできるだけ抑え、よりよい光環境を創りだしていくよう取り組む必要があります。



月の大きさ比較 (遠いとき、近づいたとき)

【受講者の声】天文の不思議さと宇宙のリズムが良く理解できた。もっと星のこと、宇宙のことを知りたいと思った。

\*【受講者の声】はアンケートより抜粋しました。

講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ [http://shinagawa-eco.jp/mt\\_kouza/](http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/) でご覧いただけます。

### しながわECOだより 2014年度Vol.3

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成26年12月16日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。